

やさいレポート（令和7年6月号）



キャベツ



発行日：令和7年6月6日

1. 卸売価格の動向

○ 74円/kg（6月3日）

➢ 平年比：83%

○6月の価格見通し

平年を下回って推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○ 210円/kg

（5月9日全国平均）

➢ 前月比：82%、平年比：102%

➢ 東京：204円（1玉）

➢ 大阪：262円（1玉）

○ 特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：6/20（前月5/20）

➢ 大阪：6/10（前月3/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○ 459g/人（4月全国平均）

➢ 前月比：107%

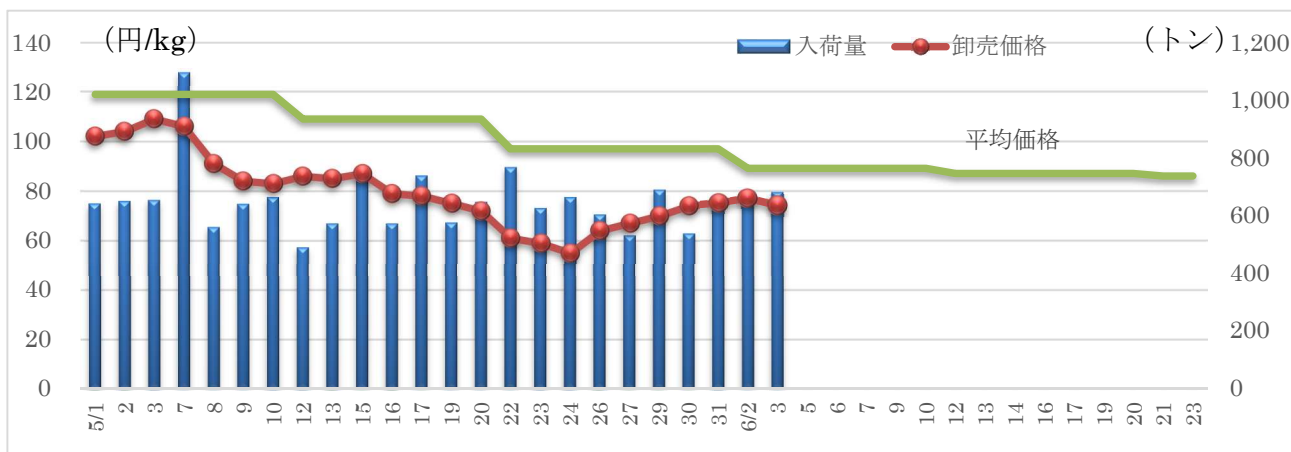
➢ 前年同月比：100%

○ 5,327g/人（2024年年間）

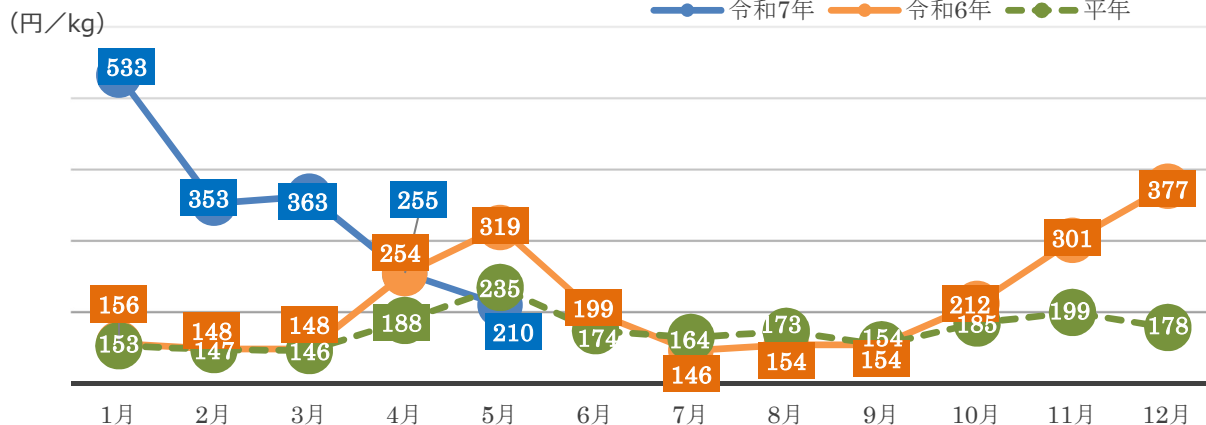
➢ 前年比：91%

（総務省統計局家計調査）

4. キャベツの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. キャベツの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道南幌町 (5/21)	減少	平年並み	平年並み	—
岩手県いわて (5/9)	減少	—	遅い	—

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



北海道南幌町：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (6/7~7/4)

週 別 の 天 候				
6/7~6/13	北日本と東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 東日本太平洋側と西日本では、前線の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
6/14~6/20	北日本と東日本日本海側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 東日本太平洋側と西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側と沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
6/21~7/4	北・東・西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低10 並10 高80% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並10 高80% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並10 高80% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮キャベツ)

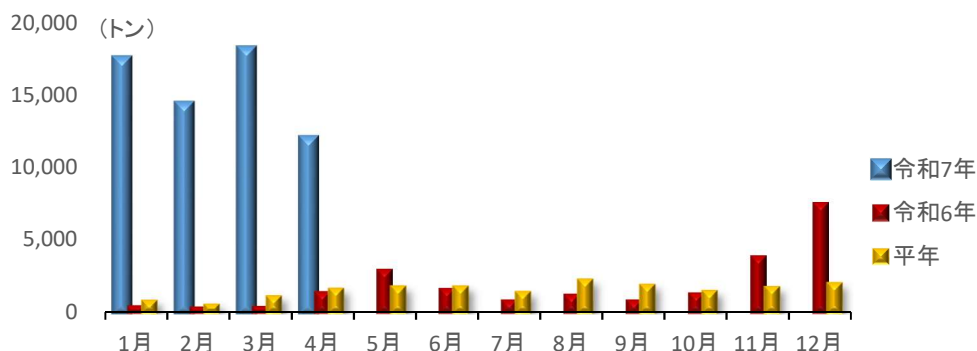
○11,995トン (4月輸入量)

➢ 前年同月比：866%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 9,315トン
- 2位 台湾 2,534トン
- 3位 ベトナム 129トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

5月は、神奈川産は終盤、千葉産、愛知産も減っていく時期だが、残量が多く下旬まで入荷が続いた。中旬からは夏系も出回り潤沢感から価格は下旬にかけて平年の7割程度まで下落した。

6月は、群馬産や茨城産に切り替わっていく。入荷は順調で出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回って推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793